

教育委員会主催の田植え教室 泥にまみれての農作業体験



6月1日、美宇の鎌田一博さんの水田で、教育委員会が主催する自然体験クラブ事業「田植えチャレンジ」が行われ、約30名の小学生が参加しました。
子どもたちは、鎌田さんの説明を受けた後、泥だらけになりながらも、一つずつ丁寧に苗を植えていきました。秋には、今回植えた稲の収穫作業を計画しています。

紅白応援合戦や大たまころがし 朝日小・新冠小大運動会終わる



6月7日に朝日小学校、15日には新冠小学校で大運動会が開かれました。
元気のよい選手宣誓から始まった両校の大運動会は、短距離走や紅白対抗綱引き、クラス対抗リレーやムカデ競走などが行われ、子どもたちは、会場に集まった家族や親せきの大歓声を受けながら、一生懸命に競技に参加していました。

北海道町村議会議長会表彰 町議会議員3名が受賞



この度、新冠町議会議員の我妻勇治議員、堤俊昭議員、武田修一議員は、永年にわたり町議会議員として、地方自治の進行発展に尽力された功績が認められて、北海道町村議会議長会表彰を受賞しました。
これを受け、6月17日の第2回定例会前に3名の議員に芳名二議長から表彰状が伝達されました。



我妻議員は平成3年から議員を務められ25年表彰を受賞、堤議員と武田議員は平成11年から議員を務められ15年表彰を受賞しました。

ま ち の 話 題

あれこれ

一人暮らしふれあい昼食会 昼食や交流会で賑やかなひととき



6月12日、本町多目的交流センターで社会福祉協議会が主催する「一人暮らしふれあい会食会」が行われ、約80名が参加しました。
この事業は、赤い羽根共同募金の助成金により実施している事業で、当日は、ボランティアグループ「あゆみ」が料理の提供、新冠ライオンズクラブが送迎の手伝いを行いました。

レ・コード館自主企画委員会主催 吉田兄弟三味線コンサート



6月14日、レ・コード館町民ホールで、NPO法人レ・コード館自主企画委員会主催するコンサート「吉田兄弟・三味線だけの世界」が開かれ約350名の来場がありました。
吉田兄弟は、全国各地でコンサートを開く津軽三味線の人気奏者で、当町では初めてのコンサートとなりました。

ふるさと再発見講座 新冠町の文化財めぐり



6月21日、新冠町郷土資料館の新川学芸員が講師を務める、ふるさと再発見講座「ふるさとの昔を知ろう 文化財めぐり」が開かれ、35名の参加者が新冠町の歴史について学習しました。
講座は、町内の様々な史跡やアイヌ伝説が残る場所、歴史が息づく場所を訪れ解説を受けるもので、郷土資料館前ではアイヌ伝説「白鳥の子孫」について、大狩部御野立所公園では、トド岩の由来や供養碑の歴史についてなど、約3時間をかけて町内を回りました。
講座の参加者は「新冠に永く住んでいるけれど、まだまだ知らないことが沢山ありました」と感想を話していました。

平成26年度北海道町内会連合会表彰 松浦宏之さんに功労者表彰



この度、松浦宏之さんが、永年にわたり自治会長として尽力された功績が認められ、北海道町内会連合会より功労者表彰を受賞されました。
松浦さんは、平成5年より現在まで、21年間にわたり新栄第2自治会の会長として地域住民活動に尽力し、地域の自治の振興と福祉の推進に貢献されました。

新冠ライオンズクラブ 新冠川河川敷の環境整備事業



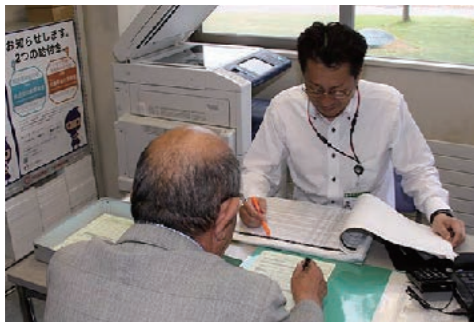
6月21日、新冠ライオンズクラブ会員が、新冠川河川敷の環境整備を行いました。
この河川敷は、約30年前に当時の会員が、町民の憩いの場となるよう桜の木を移植し、池を整備したなどの経緯があることから、この日は、現在の会員の15名が集まり、先代会員の意思を引き継ぎ、草刈や藤棚の補修、東屋の塗装などの作業を行いました。

消防団協力事業所 社会福祉法人新冠ほくと園を認定



6月24日、新冠ほくと園が「消防団協力事業所」に認定され、日高中部消防組合副管理者である小竹町長から表示証の交付を受けました。
この制度は、従業員が消防団員として複数入団し、消防団活動に協力がある事業所を認定する制度で、町内では他に「橋本商店」「新冠塗工舎」「栗山建設」の三事業所が認定を受けています。

子育て世帯臨時特例給付金・ 臨時福祉給付金 申請受付始まる



7月1日、「子育て世帯臨時特例給付金」と「臨時福祉給付金」の申請受付が役場町民生活課で始まりました。
この制度は、消費税の引き上げにより、影響を大きく受ける世帯に対し、給付金が支給されるもので、現在、申請受付が行われています。
受付期限は10月1日となっていますので、忘れずに申請するようにしてください。